

令和4年度 経営改革プラン

団体名	公益財団法人神戸いきいき勤労財団	
設立年月日	昭和56年11月2日	
団体の設立目的・沿革	市民、事業者と行政の連帯と協力のもとに、中高年齢者に好適な職種、事業の調査及び開発、勤労者を対象とする生涯教育事業の実施、中高年齢者の福祉の増進に関する事業並びに高年齢者等の雇用の安定等に関する法律（昭和46年法律第68号）に基づくシルバー人材センターに関する事業等を行い、もって高齢社会における勤労者をはじめとする市民の福祉の向上と活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。	
団体の主な事業内容	事業名	所管課
	シルバー人材センター事業	経済観光局経済政策課
	勤労者福祉共済事業	自主事業
代表者	理事長 高須 昭典	

役職員数 (令和3年7月1日時点)	評議員、理事		監事		職員		合 計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		8	8
市派遣職員	-	1	-	-		7	8
市OB職員	1	-	-	-	6		7
その他	-	13	-	2	76	-	91
合 計	1	14	-	2	82	15	114

財務状況（単位：百万円）	令和2年度	令和元年度	差引
経常損益	△ 14	△ 3	△ 11
当期正味財産増減額	△ 24	△ 4	△ 20
流動資産	470	504	△ 34
流動負債	312	369	△ 57
長期借入金（固定負債）	0	0	0
期末現金預金残高	201	197	4

■中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	勤労者福祉共済事業及びシルバー人材センター事業を通じた市民・市内事業者への貢献
ミッション②	健全な財政基盤の確保
ミッション③	財団固有職員の業務遂行能力とマネジメント能力の向上

■短期的なミッション（令和4年度のミッション）

ミッション①	勤労者福祉共済制度（ハッピーパック）の強化
ミッション②	シルバー人材センター事業の強化
ミッション③	財団固有職員育成計画の作成と実施

■経営指標（令和2年度）

経営指標				令和元年度	令和2年度	前年度比増減
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	▲ 0.058	▲ 0.391	-0.3ポイント
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	9.69%	13.13%	3.4ポイント
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	-0.14%	-0.82%	-0.7ポイント
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	1025.07%	811.96%	-213.1ポイント
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	136.67%	150.94%	14.3ポイント
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	79.77%	82.08%	2.3ポイント
持続性	自己資本当期純利益率（ROE）	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているか。	-0.26%	-1.66%	-1.4ポイント
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産) / 当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	-0.26%	-1.66%	-1.4ポイント

■ ミッション工程表

ミッション名	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度～	
中長期的ミッション								
勤労者福祉共済事業及びシルバー人材センター事業を通じた市民・市内事業者への貢献	(ハッピーバック) ・会員企業等の求める福利厚生事業に対する要望等についてのアンケートの実施。 ・アンケート結果を踏まえたサービス水準、メニューの評価及び見直しにより、市内中小企業の振興に寄与する。 ・決済キャッシュレス化やWEB申込機能の拡充など利便性向上に向けたシステム更新案の策定		・アンケート結果に基づくサービスのリニューアル ・決済キャッシュレス化やWEB申込機能の拡充など利便性向上に向けたシステム更新着手		・サービス内容の検証に向けたアンケートの再実施、サービスの見直し ・決済キャッシュレス化やWEB申込機能の拡充など利便性向上に向けたシステム更新		・アンケート結果に基づくサービスのリニューアル ・決済キャッシュレス化やWEB申込機能の拡充など利便性向上に向けたシステムの検証	
	(シルバー人材センター) ・新規の就業機会づくりを通じて市内の労働力提供と健康増進・介護予防に貢献 (フレイル予防に役立つ就業開発：短時間で安全な就業、ワークシェアリングの推進等)		・前年度の取組み検証 ・検証をふまえた取組の実施 ・市施策との連携調整・実施		・前年度の取組み検証 ・検証をふまえた取組の実施 ・市施策との連携調整・実施		・前年度の取組み検証 ・検証をふまえた取組の実施 ・市施策との連携調整・実施	
健全な財政基盤の確保	(ハッピーバック) ・加入促進業務等の再構築(手法・体制等) ・アンケート結果を踏まえたサービス内容の見直し(再掲) ・利便性向上に向けたシステム更新案の策定(再掲)		・新たな加入促進業務等の実施 ・サービスのリニューアル ・利便性向上に向けたシステム更新着手		・加入促進業務等の検証及び見直し ・サービス内容の検証に向けたアンケートの実施 ・利便性向上に向けたシステム更新		・加入促進業務等の見直しを踏まえた取組の実施 ・サービスのリニューアル ・利便性向上に向けたシステムの検証	
	(シルバー人材センター) ・「いつでも、どこでも、早く、簡単に」入会できる仕組みづくり ・新規の就業機会づくり(再掲) ・技能講習等を通じたリスキリング(会員の意識・能力向上)の実施 ・法令を遵守した適正就業の推進と継続検証の実施 ※インボイス制度：国や関係機関の動向もふまえ市と連携して対応		・前年度の取組み検証 ・検証をふまえた取組の実施 ・市施策との連携調整・実施		・前年度の取組み検証 ・検証をふまえた取組の実施 ・市施策との連携調整・実施		・前年度の取組み検証 ・検証をふまえた取組の実施 ・市施策との連携調整・実施	
財団固有職員の業務遂行能力とマネジメント能力の向上	人材育成計画の策定 人材育成計画に基づく研修の実施		人材育成計画に基づく研修の実施		人材育成計画に基づく研修の実施		人材育成計画に基づく研修の実施	

ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション												
勤労者福祉共済制度(ハッピーバック)の強化		アンケート実施システム更新案	アンケート分析		サービス水準・メニュー見直しへの反映				予算化	→ 理事会承認		
	3年度下半期の加入促進業務のフォローアップ	→ 資料収集・実施計画案作成・実施 →										
シルバー人材センター事業の強化	会員確保等方針検討 市施策との連携調整		各センター調整		方針決定	会員確保、就業開拓、安全就業、適正就業等の推進と検証 → 市施策との連携実施 →						
財団固有職員育成計画の作成と実施	人材育成計画の策定		→ 計画に基づく研修の実施 →									

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	<p>目標 (できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)</p>	<p>1. 次世代に向けた組織の再構築 (財団の安定的な運営)</p> <p>2. 社会的ニーズの多様化に対応したサービスの向上 (勤労者福祉共済事業)</p> <p>3. 生き生き就業の支援 (シルバー人材センター事業)</p>
	(1) 財団固有職員を中心とした組織の確立	
	(2) デジタル化に対応したIT・ICT化の推進	
	(3) 総務事務システムの構築など可能な分野へのシステムの導入による事務の効率化	
	(4) 従来から提供している地域密着型サービス充実への取組強化 (KPI 新規会員数500人) (勤労者福祉共済事業)	
	(5) 新たな会員ニーズに適応したサービスの提供 (勤労者福祉共済事業)	
	(6) 決済のキャッシュレス化、各種申請のWEB申込機能の拡充などICT化の推進 (勤労者福祉共済事業)	
	(7) 新規会員の確保 (KPI 新規会員数1,500人) と会員の意識・能力の向上 (シルバー人材センター事業)	
	(8) 安全就業の環境づくりと適正就業の推進 (シルバー人材センター事業)	
	(9) 神戸市との連携 (市内中小企業等の振興・高齢者の就業促進及び健康寿命の延伸)	

■ 市支援策の活用状況

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	

■ ミッションの達成状況（団体自己評価）

（1）中長期的ミッションの達成状況

- ・会員ニーズ把握のためのアンケートを実施し、要望の強かったサービスについて令和5年度予算に計上し、サービス向上を図った。（ハッピーパック）
- ・システム更新に向け、システム専門家とアドバイザリー契約を結び、更新の準備を進めた。（ハッピーパック）
- ・加入要件の緩和を行い、対象企業に対し、営業活動を行った。（ハッピーパック）
- ・ハローワーク・市等と連携し、民間企業や市役所を対象としたセミナーを開催した他、長時間就業の是正など就業開拓を行った。（シルバー人材センター）
- ・年々高齢化する会員が事故を回避できるよう、刈払機使用講習会などを開催し、リスクリングを通じて更なる安全就業を推進した。（シルバー人材センター）
- ・人材育成基本計画を策定したほか、外部開催の研修などに広く参加させ、人材育成を図った。

（2）短期的ミッションの達成状況

- ・会員ニーズ把握のためのアンケートを実施し、要望の強かったサービスについて令和5年度予算に計上し、サービス向上を図った。（ハッピーパック）
- ・新規会員の確保により、1,023人（38社）が入会した。（ハッピーパック）
- ・令和4年7月よりオンライン入会手続を開始、利便性を向上させ、新型コロナウイルス禍での新規会員確保により、計1,223人が入会した。（シルバー人材センター）
- ・法令を遵守した適正就業の推進と継続した検証を行った。（シルバー人材センター）
- ・フレイル予防等市がシニア向けに発信したい情報を、会報紙に掲載するなど会員に広く情報提供した。（シルバー人材センター）
- ・人材育成基本計画を策定したほか、外部開催の研修などに広く参加させ、人材育成を図った。

（3）市政への貢献・市民への還元状況

- ・ハッピーパックでは、中小企業でも加入しやすい会費設定とニーズに沿ったサービスで従業員への福利厚生の提供と企業の雇用確保に寄与した。
（令和4年度末会員数：2,330社、43,411人）
- ・シルバー人材センターでは、高齢者への就業機会の提供を通じて、生きがいづくりや健康維持、企業等への労働力の供給に寄与した。
（令和4年度末会員数：11,150人、契約金額2,938百万円、就業延人員592千人、契約件数9,034件）

■外郭団体マネジメント推進本部の評価

(1) 総合的意見

勤労者福祉共済事業、シルバー人材センター事業ともに会員数が減少している状況にあり、勤労者福祉共済事業についてはアンケート調査の結果を踏まえたサービスの見直し・拡充、シルバー人材センター事業についてはオンライン入会の拡大など、令和4年度の取り組みを踏まえてさらに発展・強化していくとともに職員個々の能力の向上を図り、ミッションの達成に努めること。

(2) 数値目標の状況

評価項目	評価・指導
中長期的ミッション	シルバー人材センター事業については会員の高齢化、契約金額の減少のため、新規会員の獲得及び新たな就業先の開拓が急務である。各種取り組みについて強化を図り、健全な財政基盤の確保に努めること。
短期的ミッション	勤労者福祉共済事業については、アンケート調査の結果を踏まえてサービスの見直し・拡充を行い、より効果的に事業を展開していくことを期待する。 シルバー人材センター事業については、引き続きオンライン入会の利用促進による新規会員の獲得に努めるとともに、新たな就業先の開拓を速やかに行うこと。
団体目標	シルバー人材センター事業における「新規会員の確保」がKPI未達成であるため、引き続きIT・ICT化を推進することで、職員の業務効率化とともに会員の利便性向上を図り、会員にとって魅力的なサービスの提供及び新規会員の獲得に繋げること。
市への貢献・市民への還元状況	引き続き、市内中小企業に対する福利厚生提供及び市内高齢者の就業機会の確保等への寄与に期待する。

(3) 今後の方向性

団体の存廃も含めた検討を要する団体

継続的な見直しを要する団体

取り組みが着実に実施され成果が上がっている団体